

目標達成計画

作成日： 令和2年3月1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	No2	事業所が地域との付き合い方について消極的なところがある 地域の清掃活動参加や秋祭りイベントを開催しているが交流が盛んとは言えない、また地域行事への参加も消極的なところもある	①地域行事に積極的に参加。②事業所で行う秋祭りを定例化する。	①地域行事に積極的に参加。(敬老会、運動会等) ②事業所で行う秋祭りを利用者、家族、地域のボランティアの方々と協同し共に作り上げていく行事にする	12ヶ月
2	No20	地域とのつながりが少ない 関係性が途切れない取り組み	①地域への外出支援 ②開かれたホームへ	①地元の神社、お店、温泉施設、自宅への外出支援をする ②ホーム垣根を外すことでご近所との交流に努めます。沿道に花を植え、開放的で入りやすいアットホームなホームづくりをする	6ヶ月
3	No18	自立支援を意識した関わりが少ない	①出来ることはご自身でして頂く。過剰なサービスは行わない。利用者の出来ることは奪わない。利用者職員、共に支えあう関係性づくりをする	①下膳の手伝い、洗濯たたみ、菜園作り、草取り等。利用者が力を発揮できる場面を沢山作ることで、利用者が存在価値を感じる事が出来る環境づくりをする	6ヶ月
4		担当者会議がケース検討の場になっている	①担当者会議が、利用者様、家族、主治医、関係機関の意見反映の場となる取り組みをする	①家族が参加しやすい、または意見を出しやすい取り組みとして、担当者会議月にお手紙を出し、参加を呼びかけ、欠席の時には分かりやすい返信文書で希望を伺う。主治医にFAXで医療的な意見を依頼し、往診受診時に注意点を聞く	12ヶ月
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

+